

考えよう、環境のこと。

問合せ 環境衛生課

ごみをなくそう。水をきれいに！

資源ごみの分別収集や再利用などによりごみの減量化が図られつつありますが、依然として街中や水路、河川敷にごみが多く見られます。これらのごみは、生活環境を悪化させるだけでなく、水路の閉塞を招いたり、降雨などにより河川や海に流入し、様々な生物に悪影響を及ぼすとともに、船舶の航行や漁業活動の障害にもなっています。

このため、大阪府では「ごみをなくそう。水をきれいに！」を合言葉に、6・7月の2カ月にわたり、キャンペーンを行っています。ポイ捨てをしないことはもちろん、風や動物などによってせつかく正しく出したごみが散らばってしまうのを防ぐため、ネットの設置なども有効です。みなさんのご協力をお願いします。

問合せ先

- 府環境農林水産部 水産課
(☎) 06・6210・9609
- 環境衛生課
Fax 06・6210・9611



清掃美化活動を行っています

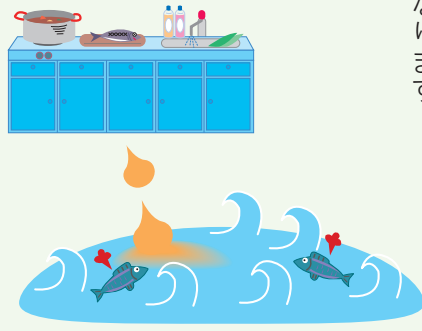
泉佐野市では、毎月第3土曜日午前中に市内の駅周辺で清掃美化活動を行っており、毎月、駅を変えて実施しています。また、第4水曜日夕刻には泉佐野駅周辺で泉佐野市環境美化活動協力員のみなさんと清掃美化活動を行っています。

泉佐野市内を美しくするために、ご協力をお願いします。



考えよう、環境のこと。

※BODとは…水中の微生物が水の汚れを分解し、栄養源とするために必要な酸素の量です。BODの値が大きくなるほど汚れが大きいことを示します。水中の酸素の量が少なくなると、悪臭や魚の大量死などが発生します。



生活排水を きれいにしましょう

川などの水が汚れる原因の約7割が生活排水によるものです。中でも、未処理の生活雑排水による汚れが全体の約4割を占めています。府では生活排水をできるだけきれいにして川に流す取組を呼びかけています。

台所から出る排水中の主な汚れの量(BOD)と魚が住める水質にするために必要な水の量は下表「生活排水の例」のようになります。

1人が台所、トイレ、お風呂、洗濯などで1日に使う水の量は250ℓとわかれています。生活排水の汚れを減らすための取組として、次のようなものがあります。





台所では

- 食事などは食べきれぬ分、飲みきれぬ分だけ心掛け、残り物を流さない
- 油は使い切り、やむを得ず捨てる場合は古新聞などにしみこませて、燃えるゴミで捨てる
- 食器や鍋は、汚れを紙などで拭き取ったり、ヘラでかき取ったりしてから洗い、洗剤の使い過ぎに注意する
- 調理くずや食べ残しが流れないように、水切り袋などを使う
- お米のとぎ汁は流さず、植木の水やりに利用する

トイレ、お風呂、洗濯では

- 使用後こまめに掃除する
- 石けん、洗剤、シャンプー、リンスなどは適量だけを使う
- 髪の毛などが流れないように、排水口に目の細かいネットなどを張る
- 洗剤は計量スプーンでしっかりと計量する（洗剤を多く入れても汚れ落ちは良くなりません）
- 風呂の残り湯は洗濯に利用する（衛生上、すすぎは水道水で）

生活排水の例

これを流すとどうなる？	水がこれだけ汚れるBOD (g)	魚が住める水質 (BOD: 5mg/ℓ以下) にするためにバスタブ (300ℓ) 何杯分？
 天ぷら油使用済 (500mℓ)	750	500杯分 (150,000ℓ) 
 牛乳 (200mℓ)	16	11杯分 (3,300ℓ) 
 みそ汁 (じゃがいも) (180mℓ)	7	4.7杯分 (1,410ℓ) 
 米のとぎ汁 (1回目) (500mℓ)	6	4杯分 (1,200ℓ) 
 中濃ソース (大さじ1) (15mℓ)	2	1.3杯分 (390ℓ) 

(府ホームページ「私たちができること」より)



地球には、およそ14億km³の水があるとされています。しかし、そのほとんどが海水で、比較的に使いやすい河川水や湖沼水はわずか0.01%しかありません。水は貴重な資源です。みなさんが家庭でできる小さな取組の積み重ねが大きな効果につながりますので、ご協力をお願いします。
※生活排水対策に関する大阪府ホームページ (https://www.pref.osaka.lg.jp/o120080/kankyo_hozen/sei-hai/index.html)